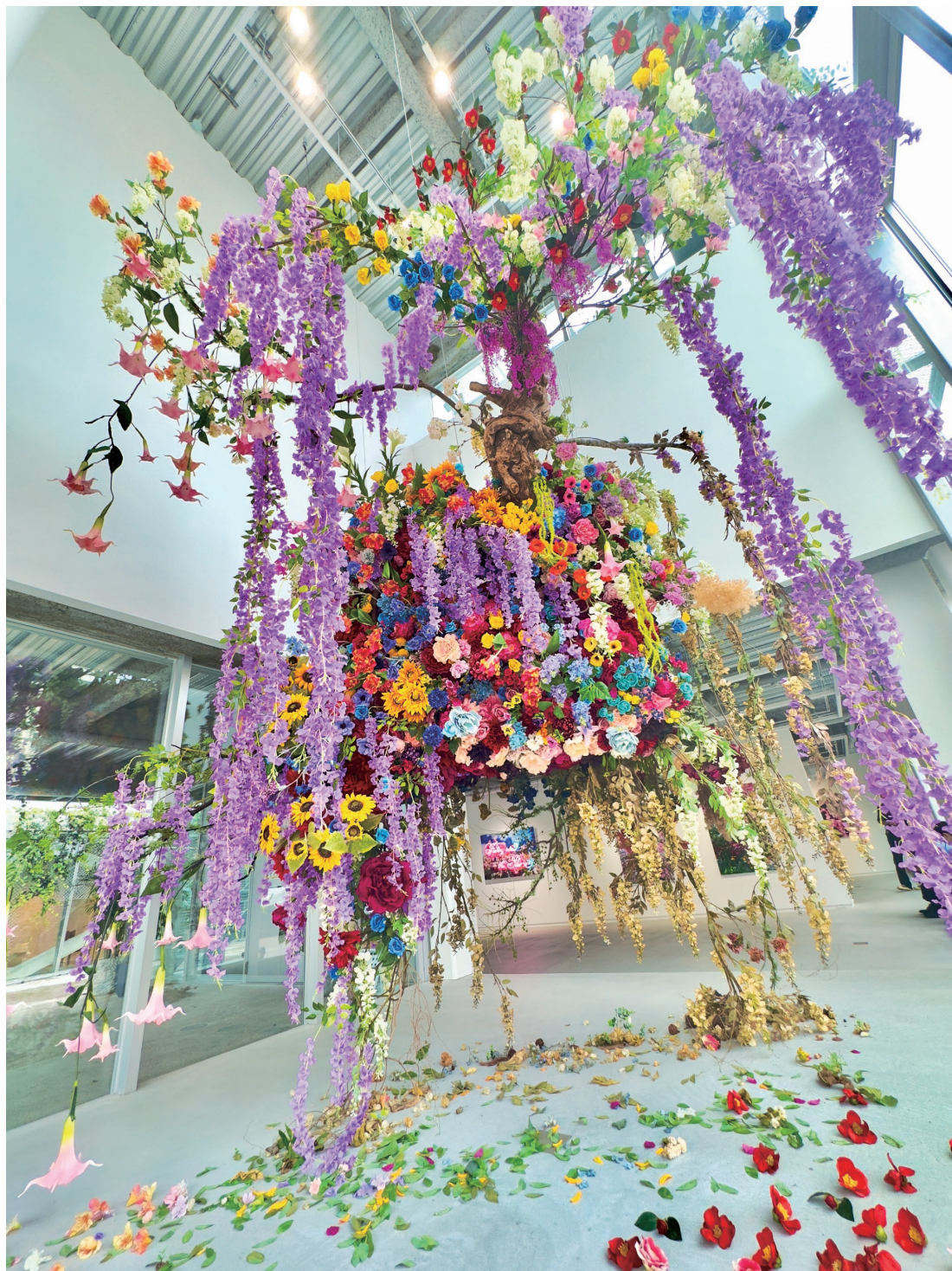


第1回 日本国際芸術祭 特別企画



EiM 残照 — z a n s h o —

2025年日本国際博覧会テーマ事業プロデューサー企画

2023 / 9/22 (金) ▶ 10/7 (土) 10:00-16:00

世界文化遺産 京都 醍醐寺 霊宝館

(京都市伏見区醍醐東大路町22)



アクセス



日本国際芸術祭とは2025年日本国際博覧会を契機に開催する新しい国際的な芸術祭です。千年の都京都、文化庁がある文化首都京都で開催致します。アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創を目指し、万博までも万博後も、毎年継続していく予定です。2023年の開催期間は9/1～10/15、メイン会場を世界文化遺産京都醍醐寺に据え、京都市内・京都府内の画廊、工房、企業ショールーム、大学研究室、美術館等を繋ぎます。京都を中心に展開し、大阪や全国が繋がっていく形を創り上げます。



主催 | (一社) 夢洲新産業・都市創造機構 特別協力 | 世界文化遺産 京都 醍醐寺
後援 | 京都府 / 京都市 / 「大阪・関西万博」京都支援協議会 / (公社) 2025年日本国際博覧会協会
経済産業省 近畿経済産業局 / (一社) 関西経済同友会 / 大阪商工会議所 / (公社) 関西経済連合会
協賛 | プラチナ協賛: 阪急電鉄株式会社 / ゴールド協賛: オムロン株式会社 / 岩井コスモ証券株式会社
ジーライオングループ / シルバー協賛: 住友林業株式会社

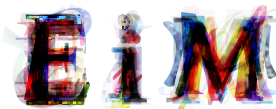
日本国際芸術祭
専用ページ



本作品は、いのちが生まれ散っていく生命のサイクルを、様々な時間軸の中で表現した空間展示です。一方の面では、色鮮やかに咲き誇る様々な花々がいのちの力と多様な豊かさを示しています。もう一方の面では、枯れた花々が落ち、種子が散りゆく様が表現され、生命の終わりと再生の始まりを描いています。この二面性は、美しさとは一瞬にして変わるものであり、しかし新たな再生への道を示すものであるという、生命の一部である死と再生を示しています。作品は生と死、繁栄と衰退、明と暗といったコントラストを、私たちの人生や世界の移ろいと重ねています。美しく咲き誇る花々も枯れた花との対比の中で無常感が滲みます。また枯れた花を観察するとただ悲しいだけでなく、次の命の種子を宿す希望が内包されていることも感じることもできるかもしれません。咲く花と枯れた花は美醜によって対比されるのではなく、そのどちらにも美しさがあります。鑑賞者は自身の経験や感情、未来に対する考えを反映させながら作品と向き合うことで、作品の中にある多様な美しさを感じることができるでしょう。

【 Eternity in a Moment [EiM] 】

データサイエンティストの宮田裕章、写真家・映画監督の蜷川実花、セットデザイナーのEnzoらと結成されているクリエイティブチーム。プロジェクトごとに多様なチームを編成する。2023年12月には大規模な没入型アート展を森ビルの新しい展示空間「Tokyo Node」にて開催する。



Eternity in a Moment



宮田 裕章 Hiroaki Miyata

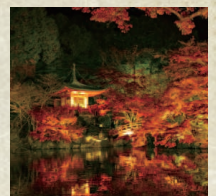


2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー テーマ：いのちを響き合わせる

慶応義塾大学教授 / 大阪府 2025 日本万国博覧会基本構想検討会メンバー / うめきた 2期アドバイザー
厚生労働省 保健医療 2035 策定懇談会構成員 / 厚生労働省 データヘルス改革推進本部アドバイザーボードメンバー
新潟県 健康情報管理監 / 神奈川県 Value Co-Creation Officer / 国際文化会館 理事 / The Commons Project 評議員、日本代表
1978年生まれ。2003年東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻修士課程修了。同分野保健学博士（論文）早稲田大学人間科学学術院助手、東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学講座助教を経て、2009年4月東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学講座 准教授、2014年4月同教授（2015年5月より非常勤）、2015年5月より慶応義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授。2020年12月大阪大学 招へい教授就任。専門はデータサイエンス、科学方法論、Value Co-Creation。データサイエンスなどの科学を駆使して社会変革に挑戦し、現実をより良くするための貢献を軸に研究活動を行う。専門医制度と連携し5000病院が参加するNational Clinical Database、LINEと厚生省の新型コロナ全国調査など、医学領域以外にも含む様々な実践に取り組みと同時に、経団連や世界経済フォーラムと連携して新しい社会ビジョンを描く。いのちを響き合わせて多様な社会を創り、その世界を共に体験する中で一人ひとりが輝くという“共鳴する社会”の共創を目指す。

世界文化遺産 京都 醍醐寺

醍醐寺は874年に開創され、上醍醐と下醍醐の約200万坪の広大な敷地に、京都府内で最古の木造建築である五重塔など国宝75,537点（日本一の国宝点数）をはじめ、仏像、文書、絵画など、古代・中世以来の約15万点にも及ぶ貴重な寺宝を収蔵しています。霊宝館はこれらの貴重な寺宝の保存と公開を兼ねた施設として、諸堂に祀られている諸尊以外のほとんどの寺宝を安置しています。



<お問い合わせ> 一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構 事務局 株式会社健康都市デザイン研究所
大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル8階 TEL:06-6136-8803 E-mail : info@yumeshimakikou.com